

資料⑤

遊びや場面		製作遊び (空き箱や容器を使って)		知識及び技能の基礎			思考力、判断力、表現力等の基礎				学びに向かう力、人間性等				
接続期までの遊びや学びのプロセス				・ 様々な素材の特徴や表現の仕方に気付く。 ・ 遊びに必要な用具・素材を選び、使う中で、それらの性質や仕組みについて気付いたり、考えたりしながら楽しむ。			・ 自ら考え試行錯誤しながら、自分が想像したことを表現する喜びを感じる。 ・ 思いや考えを言葉にし、相手に伝える。				・ 役割を決めて遊ぶ中で、友達と一緒にやってできたという達成感を味わう。 ・ 友達と折り合いをつけながら、イメージを共有して遊びを進めていく。				
0 歳	・ 身の回りのものに関心をもつ。			【接続期】 5 歳児後半	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
1 歳	・ 指先を動かす。 ・ 色や形を認識するようになる。					○	◎	○		○	◎		○	◎	
2 歳	・ のりの感触を楽しむ。 ・ 保育者や友達を真似るようになる。				遊びや学びのプロセス										
3 歳	・ つくったもので遊ぶようになる。 ・ はさみやのりなどを使って簡単なものをつくるようになる。 ・ 見立てて遊ぶことを楽しむようになる。				環境・援助のポイント										
4 歳	・ イメージを膨らませる。 ・ イメージしたものを形にしようとする。				・ 子供がイメージしたものが実現できるように、必要な素材や用具を用意する。 ・ 一緒に遊ぶ友達とイメージが共有しやすいように、画像や絵本、図鑑などを用意する。 ・ 十分に遊び込むことができるように時間と場所を保障する。 ・ 子供が考える過程や気付きを大切に、自分たちでつくり上げていく楽しさを感じられるようにしていく。										
5 歳前半	・ イメージしたものを形つくる楽しさを感じる。 ・ 自分たちで工夫したり、友達とイメージを共有して進めたりするようになる。			小学校のスタートカリキュラム	生活科「あきのおもちゃをつくろう」 図画工作科「いろいろなはこから」 算数科「もののかたち」										

